



2018-19年度ガバナー
村井 總一郎



インスピレーションになろう

2018-19年度R.I.テーマ
R.I.会長 バリー・ラシン

Weekly report

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402
例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820
ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号



第55回例会

2019年3月7日(木)

司会進行 現王園陽子 会場運営委員
「君が代」斉唱、「四つのテスト」唱和

会長挨拶

奥村 与幸 会長



皆さん、こんにちは。少し時間が短すぎたかも知れませんが、先月は佐野副会長にロータリーについて、お考えになっていることをお話いただきました。「なるほどな」と思えることが多々あり、お話をいただいてよかったですと思っています。有難うございました。

今日はまた、私からロータリーのお話をさせて頂きます。しばらくお付き合いください。

今日は、青少年奉仕についてのお話です。

まず、始めに5大奉仕について、おさらいをしましょう。いつものように、5大奉仕を日本語と英語で表記してみます。

「5大奉仕」=「Five Avenues of Service」

これも、原語の「Avenue」が日本語では抜けています。

「Avenue」=「道」・「(目的の)達成方法」です。

したがって、「5大奉仕」は、日本語の語感にある絶対的要素の「5大」奉仕と言うよりも原語では、奉仕という目的を達成するための方法を分類すると「5つ」になる。すなわち原語のニュアンスとしては、「奉仕の5部門」くらいの感じなのではないか、と思います。

さて、本題に入ります。5大奉仕は、皆さんご存知のとおり、①クラブ奉仕、②職業奉仕、③社会奉仕、④国際奉仕、⑤青少年奉仕です。

では、いつから「5大奉仕」になったと思いますか？

- (1) 1905年のロータリー発祥と同時(ポール・ハリス顔)
- (2) 1923年の23-34決議「超我の奉仕」が提唱された頃(哲学者の顔)
- (3) 1954年のハーバード・テラー(四つのテスト)がRI会長に就任した頃(ハーバード・テラー顔)
- (4) 1973年の拓ちゃんが生まれた頃(拓ちゃんの顔FBより)
- (5) 21世紀になってから

答えは(5)21世紀になってからです。具体的には2010年の規定審議会

で「第五奉仕部門」「青少年奉仕」を加える件(制定案10-87)が採択されてからです。ですから、私達「名古屋屋の杜ロータリークラブ」が設立された、わずか7年前のことでした。

では、2010年以前は、どうなっていたのでしょうか。もちろん、以前から奉仕の部門の概念は存在していました。最初に概念が整理されたのは、1927年、ベルギーのオステンド国際大会で、「目標設定計画」が採択された時です。この計画の中で提示されたのが奉仕を分類した委員会でした。1927年のオステンド大会では「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」の3部門でしたが、翌年の1928年ミネアポリス国際大会で「国際奉仕」追加され「四大奉仕部門」になったのです。

それでは、1927年当時は、青少年奉仕は存在していなかったのでしょうか？答えはNOです。ロータリークラブが社会奉仕に熱心に取り組み始めた初期の頃から、ロータリーの青少年への関心は高いものがありました。実際に、1927年のオステンド大会で決まった「社会奉仕委員会」の原語での表記は「Community Service and Boys Work Committee」でしたし、「社会奉仕委員会」の中の小委員会には、4つの小委員会があり、そのうち3つが青少年に関する奉仕の委員会でした。

(青少年委員会・障害児童委員会・育英基金委員会)したがって、2010年の規定委員会で「青少年」が奉仕部門に加わったのは、青少年奉仕の長い歴史を踏まえた現状追認と言ってもよいでしょう。

今日は、少し回り道をしてしまいましたので、ここまでと致します。この続きは、また次回にお話します。本日も、ご清聴いただき有難うございました。つづく。

出席報告

浅野慎之 出席委員長

	会員数	出席数	出席率
当日(3/7)	44	33	75.0%
前回(2/21)	44	30	68.2%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(2/21)	44	44	100.0%

ニコボックス報告

浅野慎之 出席委員長

本日3月7日、息子の6才の誕生日です。もうすぐ小学1年生です。

大きくなりました。ありがとうございます。

堀場和孝

11日が次男くうがの誕生日です。元気に育ってくれてありがとう。

不破直行

3月19日に娘かのんが卒園式です。20才までまだまだあるな～

野村治

水野くん、第二子の誕生おめでとう。前回忘れてしまっすみません。

加藤謙一

八塚奈保子さんをお迎えして

奥村与幸

スペシャルオリンピックス宜しくお願いします。

酒井俊皓

スペシャルオリンピックス日本・愛知さんの

卓話「共に生きる」楽しみにしています。

遠山堯郎

明日から家族で韓国行って来ます。

牧野敬充

中部電力の広報誌「交流」春号をお届けします。

また感想お聞かせくださいませ！

大谷まさみ

酒井先生に続いていい事ありますように！

幸せのおすそわけです。

永田聡子

第55回例会を祝して

浅野信 浅野慎之 出口茂 現王園陽子

権田淳裕 長谷川裕一 樋口昌男 河合秀紀

河村直樹 水野紀孝 野々垣雄介

大野将義 佐野洋一郎 田中吉彦

R情報委員会より報告

堀場和孝 R情報委員

～「ロータリーの友」おすすめページ～

P49【地区別クラブ数・会員数一覧表】

衛星クラブ(岩見沢ネクスト)が会員数11名、夜間例会で当クラブとは違った形で発足されたとあります。

また別件ですが、本日の配布資料にある「水と衛生月間」によせてについて、当クラブ幹事でもある鈴木拓将会員が地区国際奉仕委員会へ出向しており、本人が書いた記事となっております。是非ご一読ください。

ご報告

酒井俊皓 SAA

先日斎藤直前RI理事が来られた際に「このクラブは例会中の私語が全くなく、他のクラブではあまり見ない光景で、素晴らしいことだ」とお褒め頂きました。これは誇るべきことだと思いき報告でした。

社会奉仕委員会より報告

野村治 社会奉仕委員長

【植樹:3/14(木)10時～@高蔵公園】

現在11名の方からご参加の回答を頂戴しておりますが、当日ご都合つく方は是非お越しくださいますようお願い致します。

幹事報告

出口茂 副幹事

- 3月ロータリーレート1\$ =110円
- 4/14(日)13:00~17:00@ホテルナゴヤキャッスルにて地区協議会が開催されます。次年度役員・理事、委員長の方々のご出席をお願い致します。メールでもご案内申し上げます。
- 5/15(水)13:30~16:00@名鉄グランドホテルにて地区クラブリーダー研修会議が開催されます。R情報委員長を登録義務者とし、他に30名程の追加受講希望者を先着順で募集しております。希望される方は事務局へご連絡ください。
- 過日ご案内しておりますが、4/12(金)19時~@ボッテゴンにて懇親会を開催します。分区ゴルフ大会の後ですが、ゴルフに参加されない方も大歓迎です。多くのご参加お待ちしております。
- 5/23第60回例会の会場が東急ホテルに決定いたしました。また近くなり次第再度ご案内申し上げます。
- 本日配布している神野ガバナ一年度月信最終号修正についてですが、当年度ははじめに配布している冊子の修正についてです。修正シールにて修正して頂けますようお願い致します。
- 本日の例会後、第8回定例理事会を開催致します。
- 次回例会3/11(月)19時~21時@矢場とん栄セントライズ店(豊田三好RC様との合同例会です。本件は例会扱いの為、欠席される方はメークアップをお願い致します。

卓話「人共に生きる・・・可能性への挑戦」

(公財)スペシャルオリンピックス日本・愛知 八塚 奈保子 氏



本日は貴重なお時間を頂きまして誠にありがとうございます。
さて、皆様の中でスペシャルオリンピックスをご存知の方、挙手頂けますでしょうか。ありがとうございます。今まで色々なところへ出向きましたが、こんなに手を挙げて頂いたのは初めてです。それはきっと色々な方たちのご協力ももちろん、貴クラブに所属されている酒井氏のように私たちが一緒に活動している知的障害者の方たちの魅力に魅了されたからだと思えます。

- スペシャルオリンピックスの理念とは、
- ・1年を通した(通年)トレーニングと競技会
- ・オリンピック形式のスポーツ(オリンピックの哲学や、運営方法を提唱している)
- ・知的障害がある人へスポーツの機会を継続的に提供

です。すると、個人の成長(身体的・知的・社会的・情緒的)が見られます。また、障害がある人たちを理解し受け入れる社会を目指しております。(ボランティア・企業や学校・地域社会などの成長)

スペシャルオリンピックスと名称が複数形となっているのは、日常的なトレーニングから世界大会にいたるまで、世界各国の「どこかで」活動が行われている為です。本日は東京でアブダビの大会の壮行会が行われております。

スペシャルオリンピックスは、1962年にアメリカのメリーランド州のユニスケネディ・シュライバー夫人が自宅に庭を開放しサマーディススポーツキャンプを開催したことから始まりました。ユニスは「障害があるためにまだ一度もプールで泳いだり、トラックを走ったり、バスケットボールをしたことがない人たちに、スポーツを楽しんでもらいたい」という願いを込めて開催されたそうです。

スペシャルオリンピックスは国旗、国歌を用いませぬ。世界共通のロゴを使用します。また、4年毎に世界大会を開催しております。活動としては、170カ国で開催されており、アスリートは450万人、ボランティア140万人となっております。スペシャルオリンピックスは国際オリンピック委員会(IOC)との同じ組織ではありませんが、「オリンピック」の名称使用を認められている組織です。パラリンピック、デフリンピックとは異なります。オリンピック、スペシャルオリンピックス、ジュニアオリンピックの3つだけが「オリンピック」という言葉を使用しているという許可を得ております。また、大会の名前ではなく継続した活動を表す名前となっております。

1993年にスペシャルオリンピックス熊本が設立されました。熊本にいる体操の先生が、超複障害(耳と目)をもつ女生徒をもっておりました。それを聞きつけたスペシャルオリンピックスの前の組織が世界大会への出場

をすすめました。そして、とても素晴らしい組織だと感動し、設立に至ったそうです。それから25年が経ちます。2018年にはアスリートが8250人、ボランティアが9769人です。10,000人に達していません。47都道府県で活動している割には少ないと思います。私たちのPRが足りないのだと思います。

そして、愛知は1999年に活動開始しております。それから約20年が経ち、今年は周年ということで色々なイベントも検討しております。直近では4月20日にジョギングフェスティバルがあり、ボランティアが不足しております。是非ご協力の程お願い申し上げます。

スペシャルオリンピックスの参加者は、①アスリート:6歳以上(トレーニング)、8歳以上(競技会)の知的障害がある人で趣旨に同意し、メディカルチェックを受けて登録した人②ボランティア:コーチや事務局の仕事をしたり、すべての活動を支えてくれる人③ファミリー:アスリートの家族④パートナー:ユニファイドスポーツ®と一緒にする人としております。私はボランティアとして活動しており、早20年が経ちます。人生が変わりました。当時は普通に仕事もしていたのですが、衝撃を受け、魅力に引き込まれ、仕事も辞めて、現在はこの活動のみです。周りの人には理解されにくいですが、家族は毎日笑顔で過ごす私を見て、喜んで応援してくれています。

スポーツとしては、夏季公式スポーツ競技、冬季公式スポーツ競技、夏季準公式スポーツ競技の3つに分かれます。様々な競技がございます。明日の夕方からは長野県にてアルペンスキー、スノーボード、スノーシューイングの合宿がございます。私も付添で行ってまいります。その他にも2才半~7才までのお子様に向けた遊びを通して体を動かすことを目的とした活動もしております。

活動場所はたくさんありますが、この会場確保に一番苦労しております。皆様の中で、うちの会社の体育館を使用してもいいという方がいらっしやいましたら、是非ご協力頂ければと存じます。

スポーツルールは知的障害者だからといって特別にルールを設けておりませぬ。地域や学校でのスポーツ活動に移行しやすいよう公式ルールを採用しております。どうしても難しい場合にはローカルルールも取り入れますが、基本は各国際競技連盟の公式ルールを取り入れております。

スペシャルオリンピックスの大会は、予選出場すると決勝戦へも必ず出場することができます。予選は実力を見るために行っております。必切りしませんので、1~8位の表彰台とし、1~3位はメダル、4~8位はリボンを参加賞として送ります。一人ひとりの輝き、頑張りを称える為です。

トレーニングは原則8週間(1回/週、2~3時間程度)としており、9回目には成果の発表会を行います。成長はそれぞれで、ゆっくりです。他者に勝つことよりも、自分ががんばったことを発表する場としております。開会式はとても華やかに行います。彼らにそういう場を提供したいという思いからです。

スペシャルオリンピックスはトレーニング・フォー・ライフでアスリートの住む地域で、同じ地域に住むボランティアが運営、コーチを務め、日常的なトレーニングに参加しスポーツを楽しみます。エリートアスリートの養成ではないことを基本としております。勝ちたいという気持ちは大切ですが、スポーツを通して彼らが社会的に自立できるようにすることが私たちの目的です。

ボランティアはコーチ(日常的なスポーツ活動のコーチ)、スポーツプログラムマネージャー、大会・大会実行委員、医療委員、事務局・理事、役員、スポーツディレクター・審判、広報・募金・財務、ファミリー委員会、ユニファイドスポーツチームメンバー、施設管理とあり、是非皆様の中でも得意とすることがございましたら、ご協力頂ければと思います。

私たちは包み込む社会の実現を目指しています。(共に活動することは、地域社会にとって大きなプラスになると信じています。)スポーツを通じての、自立と社会参加。(アスリートの人生において個人の様々な向上や自立、社会参加につながることを目指しています。)これは私自身も常に心得ております。

最後に、本日の演題にもしている「可能性への挑戦」について、スペシャルオリンピックスでは「ナンバーワン」より、「オンリーワン」、人に勝つことより、昨日の自分に勝つことを重視しております。その理念は、競争主義で突き進んできた現代の社会で、最も大切にしていけるべき価値観であると考えます。強さや速さを競うオリンピックやパラリンピックとは大きく異なり、スペシャルオリンピックスが大切にしているのは、一人ひとりが自分の目標に勇気をもって挑戦し、ゴールまでベストを尽くします。その全ての人々が勝利者として讃えられます。彼らは、自分の可能性へ挑戦し続けています。そういった舞台を私たちスペシャルオリンピックスでは準備しております。その為には皆様のご協力・ご理解が必要となってまいります。どうかよろしくご協力をお願い申し上げます。

まずは4月20日のジョギングフェスティバルへのご参加、どうぞ宜しくお願い申し上げます。是非、はじめの一步を踏み出してみませんか?お待ちしております。ご清聴ありがとうございました。

次回例会【第57回通常例会】(台北石橋RC様来訪)

日時: 4月4日(木) 12時10分~13時30分

(12時10分食事開始、12時30分点鐘)

会場: ホテルナゴヤキャッスル3階「松竹の間」